無題※［＃ローマ数字2、1-13-22］

北條民雄

青空文庫

この部屋には東と北とに窓がある。しかしそれはずつと天上に近い上の方にあるので、太陽の光線は朝の間にほんのちよつと流れ込んで来るだけで、あとは一日中陰気な、物淋しい、薄暗い部屋だ。おまけにこの部屋は動物小屋の内部にあつて、すぐ壁一つ向うの土間続きには、猿や、モルモットや、家兎や、山羊や、二十日鼠などが、朝から晩まで箱の中で、泣いたり喚いたりごとごとと箱の板にぶつかつたりして騒いでゐる。だから部屋の中はそいつらの糞の臭ひがいつぱい沈澱してゐて、慣れないうちは息がつまりさうなほどだ。私はこんな部屋の中で、もう二年も前から、じつと坐り続けてゐる。

部屋の中には、書物や、湯呑や、紙くづや、その他一切のがらくた物がいつぱい散らかつてゐるので、まるで掃溜のやうなものだ。空気は何時でもじめじめして、なんだか顔や手にねばりついて来るやうな感じがする。この間も、知合ひの医者がやつて来て、（彼は自分が試験中の猿を診に来たのだ）こんな不潔な部屋にゐては肺病になつてしまふから、もう動物どもの番人はやめろと注意してくれたほどである。しかし私は、もうどんなことがあつたつて、この部屋からは出ないつもりだ。私はこの部屋が、近頃ではなんとなく気に入つてゐるのだ。それに、肺病くらゐがなんだらう。口から血でも吐いたら、かへつて楽しみが増すくらゐのものではないか。実際、私のやうな、陰気な、孤独な人間に、これ以上びつたりした部屋がどこにあるだらうか？　世界中を金の草鞋で探しても、多分ありはしないであらう。おまけに癩病院の中だから尚更のことではないか。

もつとも、私だつて昔はこんな風ではなかつた。元来、孤独な、人好きのしない性質だつたらしいけれども、まだ幾らかはましなところがあつた。しかし近頃では、もうすつかり誰とも交はりを断つてしまつた。今では、誰も彼も私を変人あつかひにするし、どうかすると、気違ひだといふ者さへも現はれるほどになつてしまつた。しかし結局、私はこれを何とも思はないのみか、こつそりひそかに喜んでさへもゐるのだ。実際のところ、人にちやほやされたり、愚劣な世間話を仕掛けられたりすることほどに、にがにがしいことがあるだらうか？　こちらが、気も狂はんばかりに懊悩してゐる時に、そんな会話を交さねばならないほど腹の立つことはないのだ。さういふ時私は、何時でも相手の顔に唾でも吐きかけてやりたいほどの憎悪を覚える。で、とどのつまりこの部屋の中で、朝から晩まで、唯一人きりで坐つたり、時々室内を歩き廻つて見たりするやうになつてしまつたのだ。

と言つて、一日中、私は何をするといふ訳でもない。仕事は一日に二回、猿やモルモットに餌をやるだけだ。これも、初めのうちは一日に三回やつてゐたのだが、面倒くさいので一回減らしてしまつたのだ。そのため動物共は、二回にした当時は荒れ廻つたり、悲鳴を発したり、鉄格子に縋りついたりして空腹を訴へ、この暴戻な主人を、うらみの籠つた眼ざしで眺めたものだ。しかしもう彼等も慣れたのかあきらめたのか、近頃では黙つてしまつた。そして私はと言へば、ぼんやりした馬鹿みたいな表情で、自分の体が一日一日と腐つて行くさまを考へてゐるのだ。ああしかし、かうして部屋に坐つてゐるのは、なんといふ苦しいことだらう。それにもかかはらず私はその苦しみから逃れたくないのみか、餌を減らしてまでも苦しみの時間を長くしなければゐられない性分なのである。……

青空文庫情報

底本：「定本　北條民雄全集　上巻」東京創元社
　　1980（昭和55）年10月20日初版
入力：Nana ohbe
校正：フクポー
2018年5月27日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

無題※［＃ローマ数字2、1-13-22］

北條民雄

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/